

闘虎

No. 13
Wrestling
群馬県レスリング協会広報紙
平成20年 冬季号



増谷剛優勝！木村龍巳準V！

関東高校選抜レスリング大会

2月2～3日、千葉県佐倉市体育館において「関東高校選抜レスリング大会」が行われた。関東一円雪の降る寒い日、各都県代表選手により全国切符をかけて争われ、館内はヒートアップした。本県選手で優勝候補に挙げられていた増谷剛は、際どい接戦を持ち前の勝負強さで次々と制し、見事優勝。一昨年同大会で優勝を果たした兄・一樹（関西大1年）以来、本県からの関東王者となった。また、大泉高校の木村龍巳が決勝まで勝ち抜き、優勝は逃したものの、同校からの関東準Vは数十年間なかったと思われる快挙である。全国切符を勝ち取ったのは次の4選手。

◇50kg級 ⑤池田圭介（館高1年） ◇55kg級 ①増谷剛（館高2年）
◇74kg級 ⑤遠藤竜也（関学大附高2年） ◇96kg級 ②木村龍巳（大泉高2年）

◆発行／群馬県レスリング協会会長 柳川益美 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第13回 前橋西高校



ブルドッグスレスリング 伝統にかみつく新鋭校！

前橋西高校レスリング部が誕生したのは、今から7年前。その以前にもバレイストラや前橋一中レスリング部出身の選手が、同校から大会に参加して活動を続けてきました。当時は部として認められていなかったため、担任の先生が引率していたそうです。そんな地道な活動が基盤となり、正式に部として発足したのは平成12年度。初代監督兼コーチは柳川美鷹さん（グットリッチ高校―日体大）です。そのわずかな期間でも国体入賞者を輩出し、日体大や神奈川大などに選手を送っています。その後長らく館林高校で采配を振り、長島兄弟や米山祥嗣、松本隆太郎など、後に全日本代表になるような選手を育て上げた小林希監督が就任。休日に同校へ取材に行くと、よく原喜彦先生（ソウル・バルセロナ五輪出場）率いる新潟のチームを招いて合同練習を行うなど日体大時代の人脈を活用し、選手が強くなるための環境づくりに余念がありません。「今はきつても、卒業後レスリングの普及発展に尽力できるようにレスリングを好きになり吸収すること」と小林監督は選手育成の展望を語ります。前西高のシンボルであるブルドッグのように、気は優しいけど、執着心強い勇猛な選手が育つことでしょう。

SCHEDULE

- 少年少女レスリング おおまき大会
3月16日（日）
大間々東中体育館
- JOC兼全国少年選抜
3月8日（土）・9日（日）
東京・青少年総合センター
- 全国高校選抜大会
3月28日（金）～30日（日）
新潟市体育館
- 全日本女子レスリング 選手権大会
4月5日（土）・6日（日）
駒沢公園体育館
- 群馬県総体
5月9日（金）～11日（日）
館林市城沼総合体育館

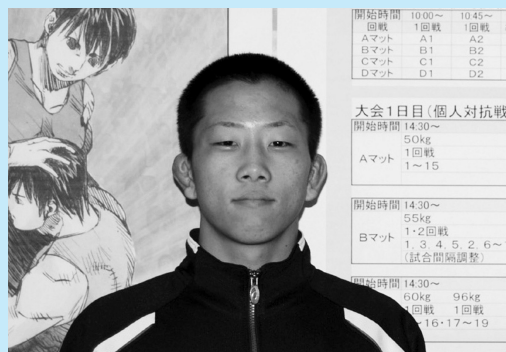


江原洋正さん（館林市・47歳）

レスラーファクトリー
（思い出の一片）

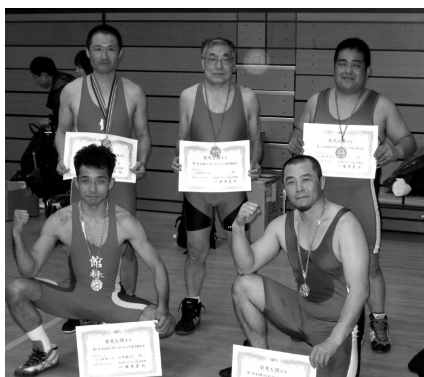
□この写真は、昭和54年8月、私（尾形先生の右後ろ）が東洋大学4年のとき、館林高校で合宿をしたときの1枚です。この合宿でも確か一人逃げましたね。主務（マネージャー）も逃げちゃったので、私は副主務兼主務兼学連までやったので、忙しかつたですよ。左端に若き日の米山先生と久保田先生が写っています。久保田先生がこの合宿で足をケガして、包帯巻いています（笑）。私は館高に入学して、中学からの先輩だった田部井先輩（現明治大監督）にレスリング部に誘われて入ったのはいいけど、すぐ後悔しましたよ（笑）。でも、レスリング仲間がファミリイのように絆が深いし、合宿や遠征でいろいろな所へ行けたのが楽しかったかな。来月群馬の学生の引率でハングリー遠征に行きますけど、レスリングやっていなければこんな所行かないでしょ？

HERO'S IN GUNMA



増谷 剛選手 (館林高校2年)

関東選抜優勝は実感がわかなかったけど、日本レス協HPを見て「ああ優勝したんだな」という実感がわき、「あんちゃんと並んだぞ!」と思いました。強豪揃いのブロックできついなと思ったけど、昨年の全国選抜3位の選手に勝って、自信が付いたので、全国選抜でも優勝を狙います。松本兄弟や兄、富塚先輩のように群馬県代表として全国優勝することが目標です。



優勝した川島(前左)・今村(前右)

壮健レスラーが参戦。特に3連覇がかかった「ミスターレスリング」今村直樹(太田倶楽部監督)が地力を発揮。専修大時代勇名を轟かせた高畑を決勝で破り公言どおり3連覇を果たした。昨年うれしい初優勝を果たした川島義弘(館林jrコーチ)は、

**ミスターWGP見参！
ナガタロックを披露！**
永田裕志レスリング教室

1月31日(木)、太商武道館で「永田裕志レスリング教室」が行われた。これは、新日本プロレスが2・3新

現役時代を髣髴させるスタミナと腹筋を誇り、試合でも力を発揮。見事2連覇を果たした。そのほか、石田直見、山口英雄、森瀬伸二(伊勢崎スパークラース)、石山浩基(館林jr)、松島秀行(邑楽jr)ら県内の指導者がこぞって参戦。生きた指導をするには、自身が試合に出るのが一番。今後子供たちに、より実感のある指導をしていくことだろう。



子供たちを指導する永田裕志選手

北欧で勝負！群馬から 4クイーンが代表に！ クリッパンレディース

スウェーデンで開かれる「クリッパンレディーストーナメント」に、群馬から新井千明(富実高)、明恵(同)、濱田早織(藤北高)、木村安里(千代田)の4選手が日本代表に選ばれた。



フォールを確認する
NEWクイーン柴崎仁沙！

吹雪を溶かす熱戦続出！ 柴崎仁沙またも優勝！ 関東甲信越少年レスリング大会

2月24日(日)、城沼体育館で「第16回関東甲信越少年レスリング大会」が行われた。ブリザードのように雪が舞い路面が凍る悪天候の中、福島から静岡までの選手が参加、熱戦が雪を溶かした。日ごろ合同練習で切磋琢磨している県内選手はよく迎撃したが、特にこの大会に強い地元の柴崎仁沙(館林jr)がまたも優勝。堂々の3連覇を遂げた。

県内選手優勝者は次のとおり。

【中学・高校女子】◇50kg級 柴崎仁沙(館林) ◇+65kg級 新井明恵(富実高)

【中学生男子】◇73kg級 亀山晃寛(千代田) ◇85kg級 木村政貴(同)

【小学5・6年女子】◇50kg級 山本梨保(館林) ◇+55kg級 浜岡佑帆(伊勢崎)

【小学3・4年女子】◇37kg級 大出若奈(千代田)

長島和幸(クリナツプ) 全日本2連覇

天皇杯全日本選手権大会

12月21・23日、代々木第2体育館において「天皇杯全日本レスリング選手権大会」が行われた。今年の全日本は、北京オリンピック出場権に多大な影響を及ぼす大会だけに、館内は異様な雰囲気包まれ、熾烈な極めた試合が続出した。本県からも多数の選手が参加。その中で、2連覇のかかったフリー74kg級の長島和幸(株クリナツプ)が危なげなく決勝に進出。決勝では、高校生の新鋭・高谷との際どい接戦をものにして堂々の2連覇を飾った。その高谷に



長島和幸、正彦の双子が同時に表彰台に！

成長著しい栗原吹MVP！ 優秀選手賞は寺田光輝！ 館林市スポ少交流大会

1月14日(月)、城沼体育館において「館林市スポーツ少年団クラブ交流大会」が行われた。新年初っ端の試合となるだけに、好スタートを切ろうと県内外クラブの選手は気合十分。特に、成長著しい栗原吹(千代田)が優勝、その強さがよく目立ち、MVPを獲得。小学生では、優勝した寺田光輝(太田)の俊敏な動きが好印象を残し、優秀選手賞を獲得した。

県内の優勝者は次のとおり。
【中学生男子】◇38kg級 金子悟士(明和) ◇66kg級 栗原吹(千代



寺田光輝(左)と栗原吹(右)

田) ◇73kg級 亀山晃寛(同)
◇85kg級 木村政貴(同)
【中学生女子】◇Akg級 木村安里(千代田) ◇Ckg級 金子和(同)
【小学5・6年】◇39kg級 寺田光輝(太田) ◇45kg級 佐々木拓海(同)
【小学1・2年】◇20kg級 藤生乙葉(大間々) ◇24kg級 高橋幸大(邑楽)
【幼年】◇17kg級 日下部倅慎(館林) ◇+21kg級 佐々木颯斗(太田)

今村直樹3連覇達成！ 川島義弘も2連覇！ 全日本マスターズ選手権

1月20日(日)、青少年センターで「全日本マスターズレスリング選手権大会」が行われた。本県からも

なでしこGUNMAの

レスクイーン



伊勢崎スパークラース
浜岡 佑帆さん(小5)

私はゴルフ、水泳とかやっていますが、はまることはありませんでした。ウチの家族が菊井悠介君(前西高1年)のお父さんと知り合いで伊勢崎スパークラースを紹介してもらって、そこで初めてレスリングというスポーツに出会いました。その時「これだ!」という直感が走りまわりました。レスリングは練習も試合も楽しいです。全国少年大会で3位になったことがいい思い出です。憧れのレスラーは浜口京子選手です。友だちも太田や大間々にたくさんできました。特にスポーツ学校の大関蘭さんとは気が合います。目標は全国大会で優勝することです。